

8日 水曜

列王 I

14:21 ユダではソロモンの子レハブアムが王になっていた。レハブアムは四十一歳で王となり、【主】がご自分の名を置くためにイスラエルの全部族の中から選ばれた都、エルサレムで十七年間、王であった。彼の母の名はナアマといい、アンモン人であった。

14:22 ユダの人々は【主】の目に悪であることを行い、彼らが犯した罪によって、その先祖たちが行ったすべてのこと以上に主のねたみを引き起こした。

14:23 彼らも、すべての高い丘の上や青々と茂るあらゆる木の下に、高き所や、石の柱や、アシェラ像を立てた。

14:24 この国には神殿男娼もいた。彼らは、【主】がイスラエルの子らの前から追い払われた異邦の民の、すべての忌み嫌うべき慣わしをまねて行っていた。

14:25 レハブアム王の第五年に、エジプトの王シシャクがエルサレムに攻め上って来て、

14:26 【主】の宮の財宝と王宮の財宝を奪い取った。彼は何もかも奪い取った。ソロモンが作った金の盾もすべて奪い取った。

14:27 レハブアム王は、その代わりに青銅の盾を作り、これを王宮の門を守る近衛兵の隊長の手に託した。

14:28 王が【主】の宮に入るたびに、近衛兵がこれを運び、また近衛兵の控え室に戻した。

14:29 レハブアムについてのその他の事柄、彼が行ったすべてのこと、それは『ユダの王の歴代誌』に確かに記されている。

14:30 レハブアムとヤロブアムの間には、いつも戦いがあった。

14:31 レハブアムは先祖とともに眠りにつき、



先祖とともにダビデの町に葬られた。彼の母の名はナアマといい、アンモン人であった。彼の子アビヤムが代わって王となった

北王国はイスラエルと呼ばれ、南王国はユダと呼ばれました。ヤロブアムは北王国すなわちイスラエルの王であり、レハブアムは南王国すなわちユダの王です。

レハブアムの罪によって国全体が偶像の影響を受けました。エジプトに攻められて、財宝が奪われたのも主からの懲らしめであると、歴代誌には明記してあります。「あなたがたがわたしを捨て去ったので、わたしもまたあなたがたを捨ててシシャクの手に渡した。」とは、歴代誌の主のことばです。主に立ち返ることが必要です。

不信仰ゆえ金の盾が奪われたのですが、レハブアムは見かけを取り繕うために、偽物を用いました。彼のみじめな様子が感じられます。

主に従わない者は、取り繕わなければならないということなのです。主に従って、それゆえに堂々と正直に生きてゆきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

